

# 受注企業動向調査結果

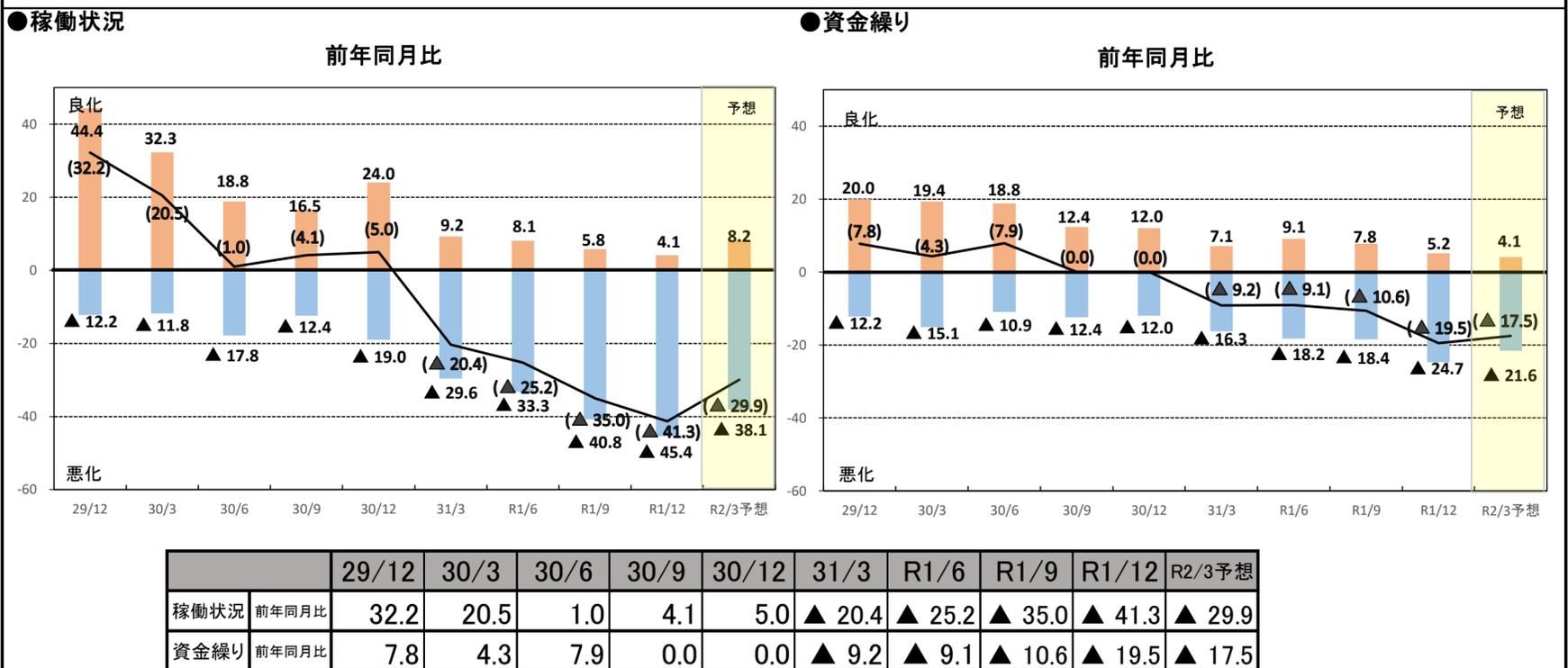
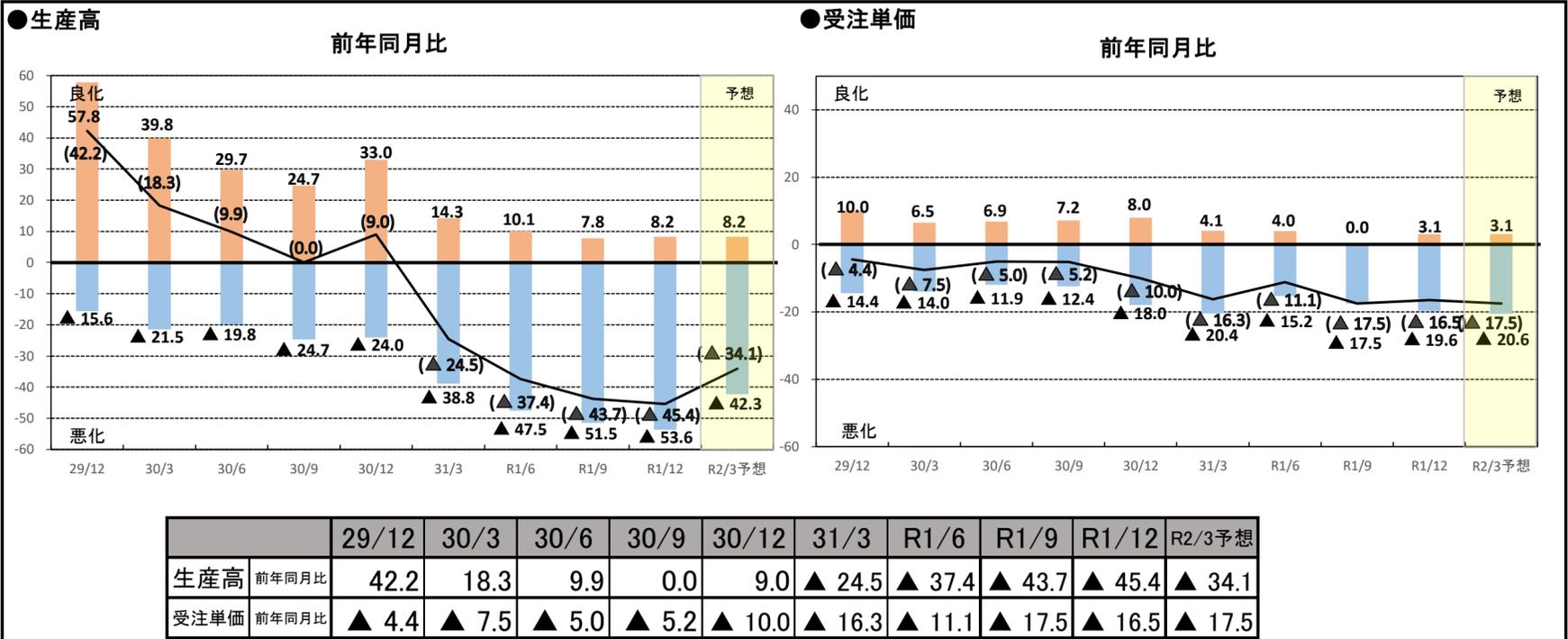
-2020.1-

- 調査時点 令和元年12月調査(令和元年12月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 97社(回答率:64.67%)

## <業種内訳>

プラスチック	7社
鉄鋼・非鉄	7社
金属製品	19社
一般機械器具	23社
電気機器	19社
輸送用機器	6社
精密機器	11社
縫製	5社
計	97社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。



### ●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)DIは▲45.4で前回の▲43.7から1.7ポイント減の悪化となった。
- ・受注単価(前年同月比)DIは▲16.5で前回の▲17.5から1.0ポイント増で悪化ながら改善傾向となった。
- ・稼働状況(前年同月比)DIは▲41.3で前回の▲35.0から6.3ポイント減の悪化となった。
- ・資金繰り(前年同月比)DIは▲19.5で前回の▲10.6から8.9ポイント減の悪化となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲34.1で11.3ポイント増の改善、受注単価は▲17.5で1.0ポイント減の悪化、稼働状況が▲29.9で11.4ポイント増の改善、資金繰りは▲17.5で2.0ポイント増の改善という予想になった。
- ・その他自由意見として、募集をしても応募なしで人手不足になっている、働き方改革で年間の稼働率が落ちた、景気の下降を実感しているという意見が寄せられた。